

化学と教育

第73巻 第8号 2025年 目次

ヘッドライン 正しく理解しておきたい 化学のしくみ Part 2

中学校や高等学校の教科書等に記載されている反応や現象は単純化して説明されたものが多く、生徒にとってわかりやすい反面、誤った理解につながる場合がある。また、結果だけが示され、説明がなされていないものも散見される。「わかりやすい」と「(科学的に)正しく理解する」ことは異なる。本ヘッドラインでは、教科書等で扱われているが、そこから一歩踏み込んで、読者である中学校および高等学校の教員が正しく理解しておきたい化学のしくみを具体的に挙げ、解説する。なお、前回の Part 1 は 65 巻 (2017 年) 12 号で扱った。

コロイドの化学	大島 広行	300
高分子化合物の構造と性質の関係性	荻野 賢司, 中野 幸司	304
高校化学におけるアニリン系解熱鎮痛薬の話題 —アセトアニリドの実験室的合成—	松岡 雅忠	308

◆ 化学教育 徒然草		
化学ネイティブを生みだそう 馬場 嘉信		297
◆ 実験の広場		
役立つ実験情報		
100 円均一ショップ商品の授業への利用 吉田 尚幸		312
SSH ただ今活動中!		
東京都立立川高等学校 SSH の取り組み 亀井 善之		314
◆ 新・講座：文化財と化学		
①文化財保存のための化学 朽津 信明		316
②文化財修復に使われる材料の有機化学 早川 典子		320

表紙の言葉 岡山県立岡山一宮高等学校

岡山県立岡山一宮高等学校は、「自主自立」と「文武不岐」を校風として掲げ、学業と部活動の両立を目指す普通科・理数科の2学科を持つ学校です。創立以来、地域の教育と文化の中心的な役割を果たしています。本校は、平成14年にスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されて以来、先進的な理数教育を展開しています。現在もSSHの指定校として課題研究を中心に、高度な科学的探究心を育み、「科学知」を統合し行動するリーダーを育成しています。また、平成22年にはユネスコスクールにも認定され、国際交流や地域貢献などに取り組んでいます。本校は「探究の一宮」として多様なプログラムを通じ、主体的な学びを推進しています。

◆ Color Gallery

新・講座 文化財保存のための化学 朽津 信明…………… 口絵 14

会告

△ 日本化学会から

10月23日は化学の日 「2025年版缶バッジ」デザインの募集…………… 324

■ 求人…………… 325

■ 編集後記…………… 328

■ 行事一覧…………… 326

次号ヘッドライン

日本の伝統工芸と化学

〔令和7年度(2025年度) 化教誌編集委員会委員一覧〕

委員長	久新 莊一郎				
副委員長	兵藤 友紀	松岡 雅忠			
担当役員	石井 洋一	五十嵐 達也			
編集委員	飯島 隆広	池田 俊明	岩井 秀人	河西 奈保子	熊本 卓哉
	島 隆則	高見 聡	佃 俊明	宮本 一弘	村中 厚哉
	籾内 一博	山本 哲也	渡辺 真伍		